

samco®  
サムコ 株式会社

証券コード 6387

## 株主メモ

|                          |  |
|--------------------------|--|
| 事業年度                     | 毎年8月1日から翌年7月31日まで  |
| 定時株主総会                   | 10月  |
| 基準日                      | 7月31日  |
| 配当金支払株主確定日               | 上記のほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。<br>期末配当金 7月31日<br>中間配当金 1月31日   |
| 単元株式数                    | 100株   |
| 上場市場                     | 東京証券取引所市場第一部   |
| 公告方法                     | 電子公告とし、当社ホームページ (https://www.samco.co.jp/) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。   |
| 株主名簿管理人<br>(特別口座の口座管理機関) | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社   |
| 同 連 絡 先                  | 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部<br>電話 0120-094-777 (通話料無料)<br>※株式関係のお手続き用紙のご請求は、三菱UFJ信託銀行のホームページ (https://www.tr.mufg.jp/daikou/) でも承っております。 |

## (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ホームページのご紹介

最新のトピックスをはじめ、財務情報や会社情報を掲載しております。製品・アプリケーションの紹介や広報誌「samco NOW」など、掲載内容を充実させております。当社をよりご理解いただくためにもぜひアクセスしてください。

<https://www.samco.co.jp/>



トップページ

samco®



2022年4月

左：代表取締役社長兼COO 川邊 史  
右：代表取締役会長兼CEO 辻 理

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当社第43期中間期の報告書をお届けいたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

## 第43期中間期の事業環境と経営成績

半導体等電子部品業界におきましては、当社の関わる化合物半導体及び電子部品製造装置の販売マーケットにおいて5G（第5世代移動通信システム）の立ち上がりを背景にしたスマートフォン向けや自動車向けセンサーなどの電子部品分野、あるいはMEMS（Micro Electro Mechanical Systems＝微小電気機械素子）といった先端分野での研究開発投資が幅広い企業で進み、本格生産への移行が着実に進んでおります。

加えて、新しい生活様式の浸透によるオンライン化が急速に進んでいることにより、半導体等電子部品製造装置の需要は拡大しております。

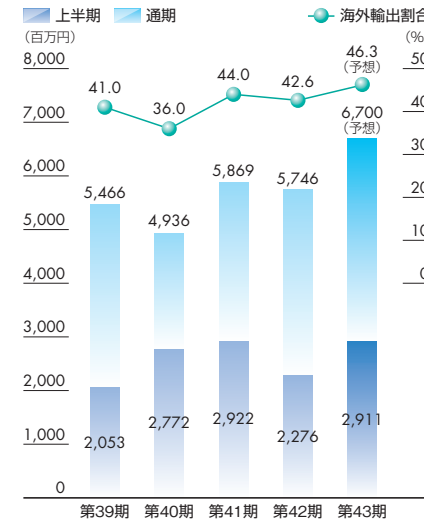
このような状況の下、当社ではオプトエレクトロニクス分野では通信用レーザーや光導波路用途、電子部品分野では高周波デバイス、パワーデバイス、量子デバイス、CMOS（Complementary Metal Oxide Semiconductor＝相補性金属酸化膜半導体）センサー用途、シリコン分野では欠陥解析用途、表示デバイス分野ではVRディスプレイ用途、その他分野では医療・バイオテクノロジー用途向けの製造装置の販売実績がありました。また、新規事業（ヘルスケア事業）の創出に向けた技術開発への取り組みや、水蒸気を用いたプラズマ処理装置であるAqua Plasma（アクアプラズマ）洗浄装置の拡販による新たな事業領域の拡大に注力いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高が2,911百万円（前年同期比27.9%増）、営業利益は523百万円（前年同期比107.4%増）、経常利益は548百万円（前年同期比108.9%増）、四半期純利益は381百万円（前年同期比99.8%増）となりました。

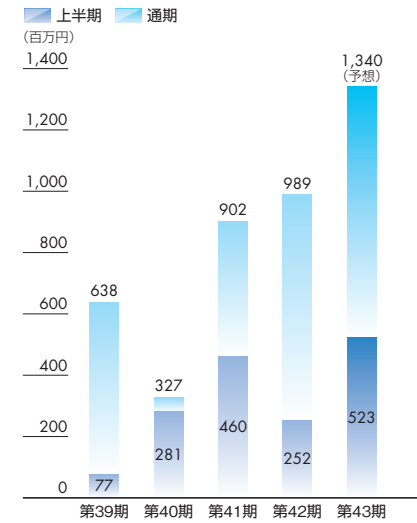
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

なお、配当につきましては、通期での実施を予定しておりますので、株主の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

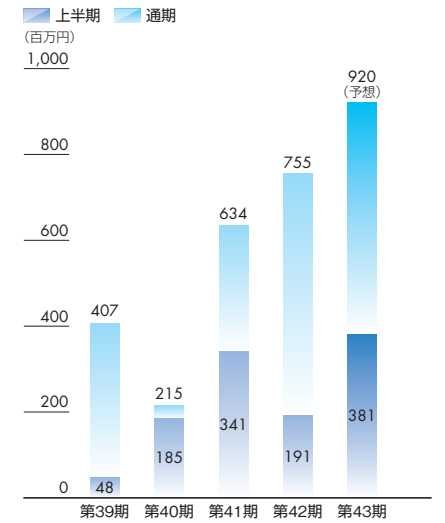
## ■ 売上高・海外輸出割合



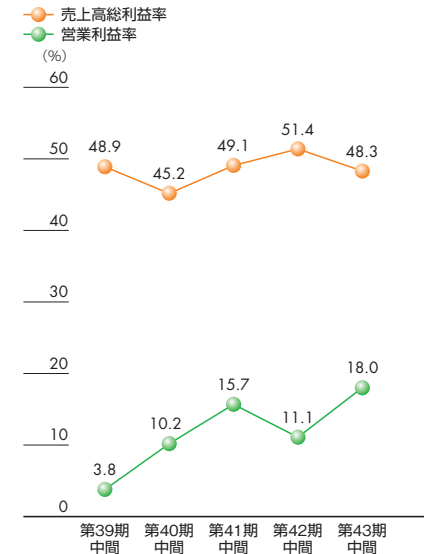
## ■ 営業利益



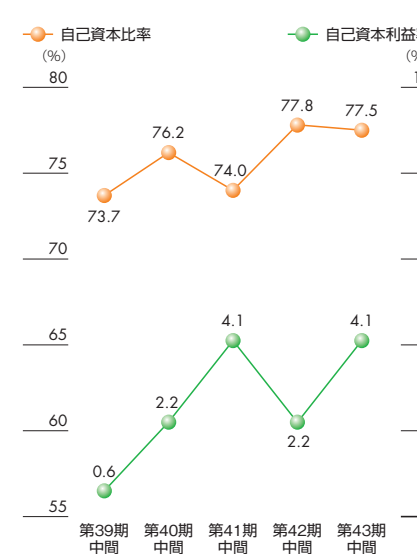
## ■ 中間(当期)純利益



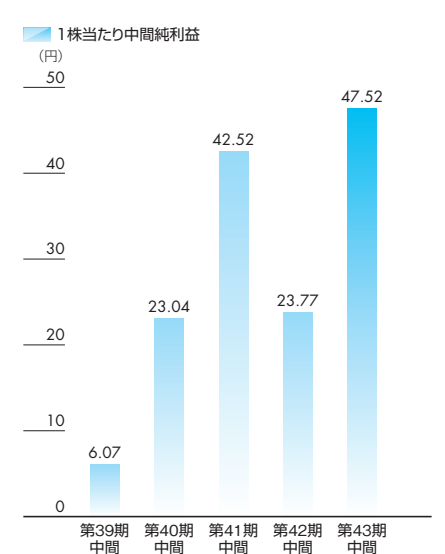
## ■ 売上高総利益率・営業利益率



## ■ 自己資本比率・自己資本利益率



## ■ 1株当たり中間純利益

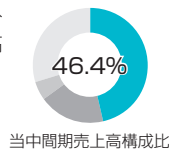


## 品目別販売状況

### ■ エッチング装置

売上高 1,351百万円 前年同期比 19.8%増

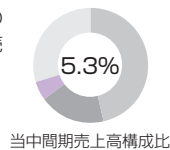
▶ 電子部品分野の高周波フィルタ向け、シリコン分野の欠陥解析用途などでの販売が好調で、売上高は1,351百万円となりました。



### ■ 洗浄装置

売上高 154百万円 前年同期比 56.1%減

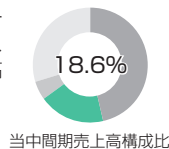
▶ 実装・表面処理分野などの各種表面改質用途での販売がありましたが、大型機の販売が減少し、売上高は154百万円となりました。



### ■ CVD装置

売上高 542百万円 前年同期比 83.2%増

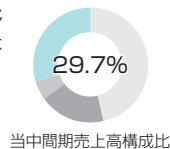
▶ オプトエレクトロニクス分野の半導体レーザー(LD)やLED、電子部品分野のパワーデバイスや量子デバイス関連などの販売が好調で、売上高は542百万円となりました。



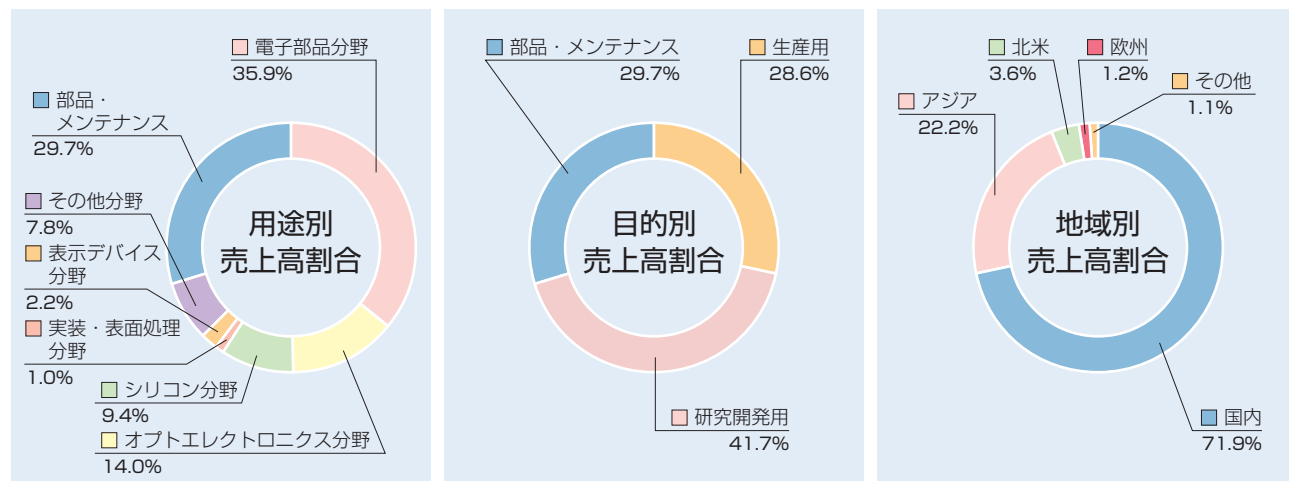
### ■ その他

売上高 863百万円 前年同期比 72.8%増

▶ 既存装置のメンテナンスや部品販売、装置の移設・改造作業などが大きく増加し、売上高は863百万円となりました。

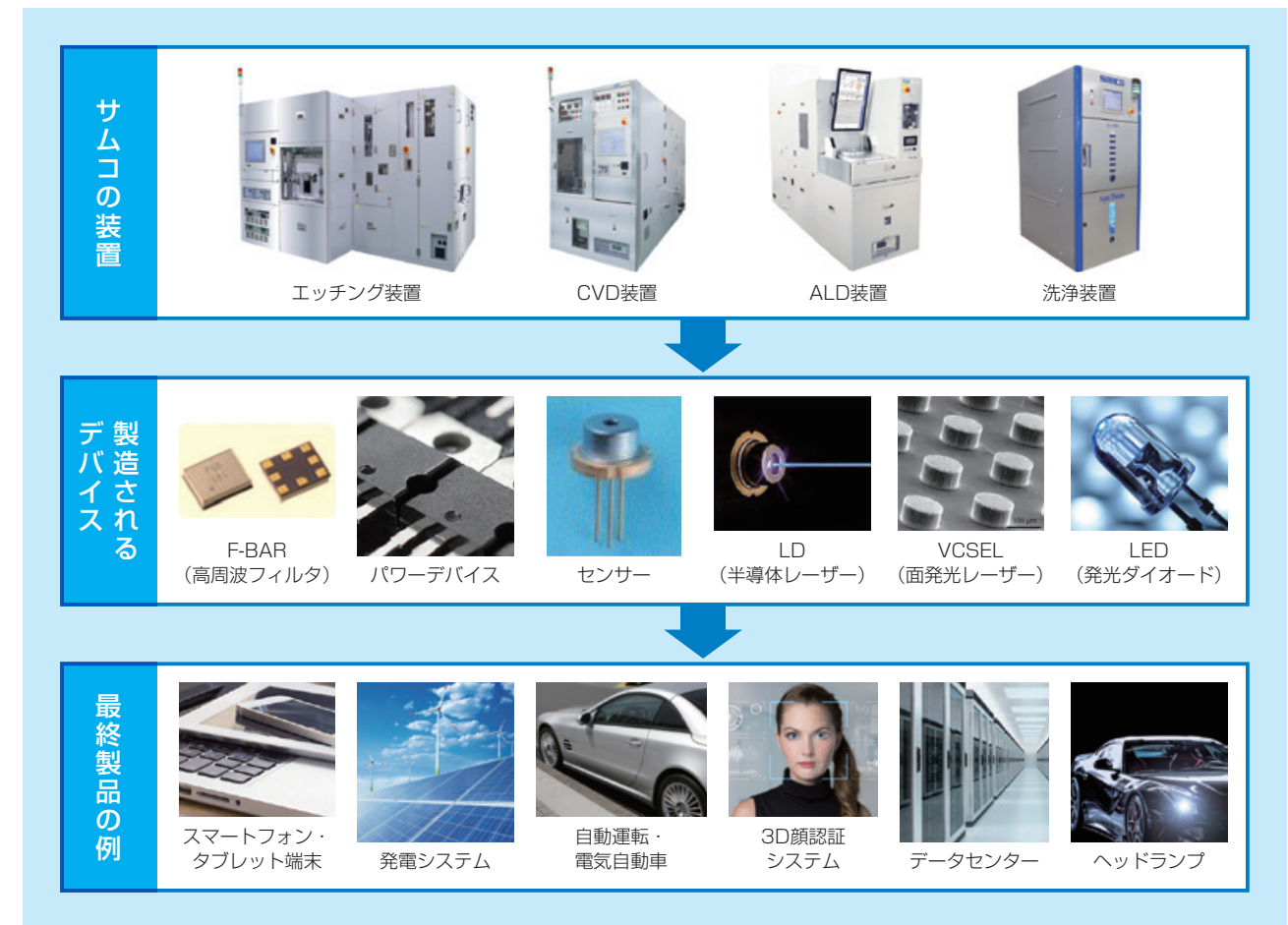


## 売上高割合状況



当社は、皆様の快適な暮らしを支える半導体や電子部品を加工する製造装置を製造・販売しております。薄膜を微細加工するエッチング装置、薄膜を形成するCVD装置・ALD装置、基板表面をクリーニングする洗浄装置などの製品を世界中に提供しています。

IoTやデジタルトランスフォーメーション(DX)などの技術革新に伴い、当社の薄膜技術を利用した製造装置の需要は今後高まると予想されます。“薄膜技術で世界の産業科学に貢献する”という経営理念の下、当社の事業を通じて省エネ・脱炭素などの社会・環境課題の解決に貢献していきます。

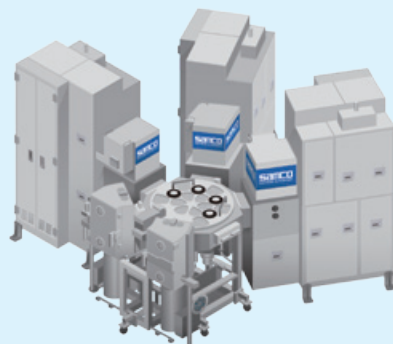




### ○電子デバイス製造向けクラスターツールシステム「クラスターH™」の販売を開始

2021年12月、電子デバイス製造のエッチング工程向けに、複数のプロセスモジュールを搭載できるクラスターツールシステム「クラスターH™」の販売を開始いたしました。

今後、デジタル変革（DX）の進展で自動車や産業分野などで拡大するセンサー、パワー半導体などの市場の更なる進展が期待されております。クラスターH™は、当社が培ってきた様々な化合物半導体材料の加工技術やノウハウを備えた本格生産装置となります。SiC、GaNパワーデバイスや高周波フィルターのほか、MEMS、レーザーなど様々なデバイスをターゲットに販売の拡大を目指してまいります。



クラスターH™の装置イメージ

### ○SEMICON Japan 2021 Hybridに出展

2021年12月15日から17日までの3日間、世界最大級のエレクトロニクス製造サプライチェーンの総合展示会である『SEMICON Japan 2021 Hybrid』が東京ビッグサイトで開催されました。前回は新型コロナウイルス感染症の拡大によりバーチャル形式での開催でしたが、今回は2年ぶりの実地開催となり、出展数452社、延べ約26,000人の来場者で連日賑わいました。

当社ブースでは、新製品「クラスターH™」のほか、ICPエッチング装置、Aqua Plasma®クリーナーなどを紹介いたしました。



当社ブースの様子

### ○新市場区分「プライム市場」に移行

2022年4月4日より、東京証券取引所の新市場区分である「プライム市場」に移行いたします。今後も、経営理念である“薄膜技術で世界の産業科学に貢献する”の実現に向けて、コーポレート・ガバナンスの更なる強化を図るとともに、多くのステークホルダーの皆様のご期待に沿えるよう、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。



#### ■ 会社概要

商号 サムコ株式会社  
 英文社名 SAMCO INC.  
 設立 1979年（昭和54年）9月  
 事業内容 半導体等電子部品製造装置の製造、販売及び輸出入  
 資本金 1,663,687,288円  
 従業員数 173名  
 本社 〒612-8443 京都市伏見区竹田藁屋町36番地  
 TEL(075)621-7841 FAX(075)621-0936  
 国内拠点 本社（京都）、東日本営業部（東京）、東海支店（愛知）、つくば営業所（茨城）、福岡営業所（福岡）  
 海外拠点 米国（カリフォルニア・ニュージャージー）、台湾、シンガポール、中国（上海・北京）、マレーシア  
 研究拠点 本社研究開発センター（京都）、オプティフィルムズ研究所（米国）

#### ■ 役員

代表取締役会長兼CEO 辻 理  
 代表取締役社長兼COO 川 邊 史  
 取締役執行役員 山下 晴彦  
 宮本 省三  
 佐藤 清志  
 社外取締役 村上 正紀  
 高須 秀視  
 常勤監査役 辻村 茂  
 社外監査役 木村 隆之  
 西尾 方宏  
 常務執行役員 竹之内 聡一郎  
 外山 信一  
 執行役員 関 伸修  
 ピーター・ウッド  
 本山 慎一  
 松出 和男

#### ■ 株式の状況

発行可能株式総数 ..... 14,400,000株  
 発行済株式の総数 ..... 8,042,881株  
 株主数 ..... 9,324名

#### ■ 大株主の状況

| 株主名                 | 持株数(株)  | 持株比率(%) |
|---------------------|---------|---------|
| 辻 理                 | 977,707 | 12.2    |
| サムコエンジニアリング(株)      | 850,282 | 10.6    |
| (一財)サムコ科学技術振興財団     | 800,000 | 9.9     |
| 日本マスタートラスト信託銀行(信託口) | 457,200 | 5.7     |
| (株)日本カストディ銀行(信託口)   | 262,200 | 3.3     |
| 辻 一美                | 201,465 | 2.5     |
| 辻 猛                 | 193,317 | 2.4     |
| (株)三菱UFJ銀行          | 129,600 | 1.6     |
| サムコ従業員持株会           | 123,438 | 1.5     |
| 立田 利明               | 103,099 | 1.3     |

#### ■ 所有者別株式分布状況

